

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、10～19℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の2.1倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.2トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバが1日1統当たり31トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の2倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり19kgの水揚げで、前週の79%（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり128kgの水揚げ。対馬西岸地区ではマアジなどが1日1統当たり55kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが1日1統当たり193kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、カマスが1日当たり295kgの水揚げで前週の1.7倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/10～1/15の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、荒天のため各地入港。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐対馬～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）は、入港船なし。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>